参考資料

スイートピー新品種「春かなピンク」について

１　品種育成のねらい

「春かなピンク」は、スイートピーの中で需要の高いピンク色の花で、近年の春先の気温上昇による品質低下や収穫量減少といった問題解決を目指して育成したもので、当所で初めて育成した春咲き性品種である。

２　育成の経緯

・平成 19 年に「ローブデコルテ」（花色:白、開花習性:冬咲き性）と当所所有系統（花色:ピンク、開花習性:春咲き性）との交配から得た系統から有望系統「20-201」を得た。
・令和２年度から有望系統の特性調査を行った。
・令和５年度に現地栽培試験を実施し、生産者から良好な評価を得た。
・令和６年７月 22 日に種苗法に基づく品種登録出願を行い、10 月 24 日に出願公表された（品種登録出願番号第 37532 号)。

３　品種の特徴

・花の色は需要が高いピンク、先端から中央に向かって薄くなる。
・花びらにウェーブがあり、大きくて華やか。
・既存の冬咲き性品種と比べ、花が大きく、花数が多く、切り花長の長い切り花が、１月～４月上旬まで多く収穫できる。

写真１　春かなピンクの花びら

写真２　春かなピンクの栽培状況

４　名称の由来

「春」に品質がよい花が咲く「かながわのスイートピー」という意味を込めて、生産者から提案された「春かな」に、花の色の「ピンク」を組み合わせて命名した。